



株式会社 ヴィア・ホールディングス

2012年5月24日

各位

ケニア共和国ナイロビ
～ ムクル・スラムにおける学童クラブ支援事業の開始について ～

株式会社ヴィア・ホールディングス（本社所在：東京都文京区関口1-43-5 / 代表取締役社長：大場 典彦 / 大阪証券取引所 JASDAQ スタンダード：7918）と、公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン（本部：東京都千代田区、理事長：上野 昌也、専務理事・事務局長：渋谷 弘延、以下SCJ）は、本日、ナイロビのスラムに住む子どもたちのための支援、ムクル学童クラブ支援のためのプログラムを共同で開発し、実施していくことを発表しました。本活動は、株式会社ヴィア・ホールディングスの取組みである「ヒューマン・アース・プロジェクト」の一環として行われるものです。

株式会社ヴィア・ホールディングスとその子会社で形成されるヴィア・グループでは、「食から地球と人を考える」をテーマとして、2010年11月より「ヒューマン・アース・プロジェクト※」を実施してきました。

この度、当該プロジェクトで得た資金における社会貢献活動の内容を決定しました。社会貢献活動の内容は、ケニア共和国 ナイロビのムクル・スラムにおける学童クラブ支援事業として、スラムに住む子どもたちに対し、給食支援、子どもたちの親に対する栄養・衛生教育活動やグループ活動等を支援するものです。

ナイロビでは、地方から都市部への人口移動が急激に進む一方で、仕事が十分になく、多くのスラムが広がり、ナイロビ人口の約半分がスラムに住んでいるといわれています。ムクル・スラムにも非常に多くの人々が住んでいますが、公共施設の整備や公共サービスの提供はほとんど進んでいない状況です。

このようななかで、私たちヴィア・グループでは、学童クラブに通う小学生たちにバランスのとれた夕食を提供することにより、家庭における学習環境が整っていない子どもたちの栄養補助に資するとともに、学習効果の向上に貢献します。

また、食事を提供することに加え、子どもたちの親を対象に栄養教育および衛生教育を実施することで、バランスのとれた食事とは何か、子どもたちの成長にとってなぜ重要か、さらには、手洗いなどの衛生習慣や疾病などについての学びと意識向上を図ります。

ヴィア・グループでは食の事業を展開する企業として、地球と人の今と未来のために、創意工夫により出来ることを一つひとつ実施してまいります。

※ ヒューマン・アース・プロジェクト

ヒューマン・アース・プロジェクトは、ヴィア・グループにて実施しているプロジェクトで、お客様がヴィア・グループの店舗をご利用いただくことをきっかけとして、①健康問題、②環境問題および③食糧問

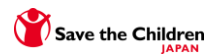
題へ参加していただくものです。

具体的にはヴィア・グループの店舗で提供している、ベジメニュー1品のご注文代金、または、お持ち帰り用の紙バッグ1個のご購入代金につきそれぞれ10円を、SCJを通じてアフリカの子どもたちのために寄付しています。

【 事業概要 】

- ・ 支援対象地：ケニア共和国ナイロビ市南東部に位置するムクル・スラム・カヤバ・ヴィレッジ
- ・ 実施期間：2012年6月1日から2013年5月31日までの1年間
- ・ 事業内容：①栄養バランスのとれた夕食の提供
②学童クラブ父兄懇談会の立ち上げと栄養教育、衛生教育の実施
③親クラブの立ち上げ
④学童クラブの調理室の整備
- ・ 対象となる子ども：6歳から17歳までの学童クラブに登録している子どもたち約60名

※ 公益社団法人 セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン



セーブ・ザ・チルドレンは、1919年にイギリスで設立されて以来、90年以上にわたり活動を行っている。現在、世界で29の独立した団体がパートナーを組んで、すべての子どもにとって、生きる・育つ・守られる・参加する「子どもの権利」の実現を目指し、約120ヶ国で活動中。セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンは1986年に設立され、アジアやアフリカを中心に教育、水・衛生、保健・栄養分野における支援を実施しているほか、自然災害発生時には子どもの保護を最優先に緊急支援を展開している。

<お問い合わせ先> 株式会社ヴィア・ホールディングス 総合政策担当
TEL 03-5155-6801 FAX 03-5155-6250
<http://www.via-hd.co.jp>